

母子で治療を行い強いかゆみの時期を経た成人・小児アトピーの経過 (母 37 歳・娘 4 歳)

症例 ID：001-30-HM5 | 記録日：2016 年 7 月 20 日

1. 診断・治療前経過

母親は小さい頃から軽いアトピーがあり、肘裏や首のかさつき、背中のかゆみに対して皮膚科でステロイドを塗っていました。20 歳前後から首や指に重い症状が出るようになり、妊娠中には蕁麻疹や肌荒れが続き、足・背中・腕など広範囲にステロイドを使用していました。

娘は乳児湿疹が強く、7 か月頃の検査でアトピー・食物アレルギーとされ、全身に毎日ステロイドを塗ることを勧められました。母親は娘の全身に毎日ステロイドを塗ることに納得できず、母子で治療を始めました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	母親は小児期から成人期、妊娠中にかけてステロイド外用薬を使用していました。娘には全身へのステロイド使用を勧められましたが、使用を避けて治療を開始しました。
製品名	不明。
強度	不明。
使用期間	母親は小児期から妊娠中まで使用歴があります。娘は使用を勧められましたが、継続使用歴は不明です。
中止時期	母子で松本医院での治療開始後、ステロイドを使用しない方針となりました。
来院前／後	母親は来院前に使用歴があり、来院後の使用は不明です。娘の来院前後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2014 年 6 月	母・治療開始	治療 1 週間後から顔と首のかゆみ、ガサガサ、汁が出る状態が始まりました。1 か月後には鎖骨・腕・背中まで広がり、外出が難しくなりました。
2014 年 10 月末～12 月上旬	母・回復傾向	胸から上の強いかゆみと痛みは落ち着き始め、腰・お腹・太ももへ移りました。12 月末までの 2 か月は再び外出が可能になりました。
2014 年末～2015 年 5 月	母・症状の波	手首の激痛、背中の痛み、肩こり、倦怠感、頭痛、微熱があり、午前中に起きられない日々が続きました。
2015 年 5 月中旬	母・回復傾向	体が楽になり、傷が消え始め、掻いても傷になりにくくなりました。肩こり、倦怠感、頭痛、手首と背中の痛みもなくなりました。

2015 年 6 月	娘・治療開始	3 歳で治療を開始しました。煎じ薬を飲むことや塗り薬、入浴に抵抗がありましたが、徐々に工夫して継続しました。
2015 年 8 月頃	娘・継続期	煎じ薬をゼリー状にする工夫により、毎食飲めるようになりました。足の甲、お腹、背中のガサガサや寝る前の強いかゆみがありました。
2015 年 10 月頃	娘・急性期	胸～お腹・背中の荒れが急に強くなり、全身の赤いブツブツと 42 度の高熱が出ました。抗ヘルペス剤などで対応しました。
2015 年 10 月～2016 年 5 月	娘・回復傾向	時々カサカサはありましたが、足の甲、お腹、背中には傷がなく、きれいな肌になりました。

4. ピーク時期

ピークは、母親では治療 1 か月後に鎖骨・腕・背中まで症状が広がり、かゆみや痛みで外出が難しくなった時期です。娘では、胸からお腹、背中の荒れが急に強くなり、全身の赤いブツブツと高熱が出た時期です。

5. 困りごと

- ・母親は漢方風呂の準備や入浴、入浴後のかゆみ対応に長時間を要し、夜も 2 時間ごとに目が覚めていました。
- ・母親は痛みとかゆみで横になれず、椅子に座ったまま眠ることもありました。
- ・娘は煎じ薬、塗り薬のにおい、長時間の入浴を嫌がり、家族が工夫しながら継続しました。
- ・母子同時の治療で、生活全体がお風呂とケアを中心としたものになりました。

6. 経過のまとめ

母親は治療開始後に強い症状を経験しましたが、2015 年 5 月中旬以降は体が楽になり、傷が消え始め、肩こり、倦怠感、頭痛、手首と背中の痛みもなくなりました。2016 年 6 月時点では手荒れや色素沈着への対応として煎じ薬を再開していました。

娘は薬や入浴への抵抗がありましたが、工夫により煎じ薬を飲めるようになりました。2015 年 10 月頃の急な発疹と高熱の時期を経て、2016 年 5 月頃には足の甲、お腹、背中には傷がなく、きれいな肌になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。